

3部

1月
科目修了試験の
ご案内

1 1月科目修了試験の受験申込み

2018年度第5回科目修了試験をp. 17～18の日時・会場で実施します。

試験実施日	申込締切・ レポート締切日	受験通知書 到着予定日	成績通知(履修 状況票)発送予定
1 / 19(土)・ 1 / 20(日)	12 / 19(水)必着	12 / 26(水) ※12 / 26までに届かない場合 は12 / 27午前中までに通信教 育部までご連絡ください。	2 / 6(水)

※受験科目の追加は12 / 20(木)午前まで、受験会場の変更は1 / 8(火)午前まで受け付けます。

2 科目修了試験に関するご案内

- 申込・受験上の留意点 → 『学習の手引き』4章2節または7章
- 教科書持込可科目 → 受験通知書にてご確認ください
- 自筆ノート持込可科目 → 受験通知書にてご確認ください
- 卒業試験について → 『学習の手引き』7章または5章
- 試験結果通知後「不可」の理由が不明の場合 → 『学習の手引き』4章1節または6章「担当教員への質問」の利用が可
- 本学職員による学習相談が可能な会場 → 仙台、郡山、東京(1 / 20)、新潟、静岡
- メールによる問合せ先 → ut@tfu-mail.tfu.ac.jp (結果照会は不可)

3 1月科目修了試験の実施日時・会場

会場地図 → 『試験・スクーリング情報ブック2018』 p. 94～110ほか参照

日時	都市名	会場名
1 / 19(土) 13:30集合	仙台(注1)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	札幌	かでの2・7 7階710会議室
	青森	アスパム 5階白鳥
	宮古	シーアリーナ 2階研修室
	秋田	秋田県生涯学習センター 5階第3研修室
	酒田	酒田中央公民館 3階310会議室
	いわき	L A T O V 6階会議室1
	東京(注2)	東北福祉大学 東京サテライト (四ツ谷)
	長野	長野県教育文化厚生協会 本館4階中会議室
	静岡	静岡県立大学 短期大学部 小鹿キャンパス 教育棟1階103教室
	福岡	福岡市立中央市民センター 2階視聴覚室
1 / 20(日) 9:45集合	仙台(注1)	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	函館	函館市地域交流まちづくりセンター 2階研修室B
	盛岡	アイーナ 8階会議室803
	山形(注3)	学校法人明德学園 2階24教室
	郡山	郡山市労働福祉会館 1階第1会議室
	宇都宮(注4)	宇都宮市中央生涯学習センター 4階404学習室 ※p. 18参照
	東京(注2)	東北福祉大学 東京サテライト (四ツ谷)
	新潟(注3)	新潟医療福祉カレッジ 2号館
大阪	日本研修センター 十三 3階小会議室D	

(注1) いずれか一方の日程のみ受験可。使用教室は当日の案内掲示板を参照。

(注2) いずれか一方の日程のみ受験可。開室予定時刻は集合の40分前。

(注3) スリッパ等の上履きをご持参ください。

(注4) 『試験・スクーリング情報ブック2018』より会場変更。

時間割	1 / 19(土)	1 / 20(日)
		13 : 30集合会場
1 科目め	13 : 45~14 : 30	10 : 00~10 : 45
2 科目め	14 : 30~15 : 15	10 : 45~11 : 30
3 科目め	15 : 15~16 : 00	11 : 30~12 : 15
4 科目め	16 : 00~16 : 45	12 : 15~13 : 00

宇都宮会場 宇都宮市中央生涯学習センター

住所 〒320-0806 宇都宮市中央 1
丁目 1-13

電話 028-632-6331

交通アクセス 電車「東武宇都宮
駅」から徒歩5分。関東バス・
東野バス・JRバス「県庁前」
下車、徒歩5分。市内循環バス
「きぶな」で「総合福祉センター
前」下車

駐車場 あり (有料)



4 / 2月Web科目修了試験 受験申込み

2018年度第5回Web科目修了試験を下記のとおり実施します。

試験日	申込 開始日	申込締切日・ レポート提出締切日	受験 通知日	評価 登録日
2019年2 / 7(木) 19:30~20:15 [予備日2 / 8(金)]	2019. 1 / 15(火)	2019. 1 / 29(火)	2019. 2 / 1(金)	受験後 1週間以内

※受験科目の変更・追加は、申込締切日翌日の正午まで受け付けます。

●申込みにあたり、自身でパソコン操作ができる方を対象とします。

- ・ Microsoft Wordの操作ができること。
- ・ ワードファイルを添付したメールの送受信がスムーズにできること。

※本学において、メールの送受信やワードの使用方法など、パソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりません。

※自宅の有線LANなどの安定したネットワーク環境で受験することを推奨します。

●禁止事項

- ・ 学生本人以外がパソコンを操作し受験すること。
- ・ 複数人で解答・受験すること。

※その他、試験当日のパソコン操作に関するお問い合わせにはお答えできません。ただし、障害・トラブルなどの緊急時にはご連絡ください。

●採点基準

持込等の制限ができないため、会場の科目修了試験よりも難易度の高い問題となります。

●申込み上の注意事項

受験者が多数(50名超)の場合、予備日へ変更いただくことを、ご了承

のうえお申込みください。

●申込み可能科目

以下の科目のうち、いずれか1科目のみ申込みできます。

受験科目		科目コード
'09～	福祉行財政と福祉計画	CC4080
'09～	保健医療サービス論	CD4075
～'08	福祉計画法	DH3123
	医療・福祉経済論	DF3147
	公衆衛生学	DF3110
幼保特例	福祉と養護	HH2801
	幼児理解と保育相談	HK2809

●受験条件（以下の条件をすべて満たした場合に、受験を許可します）

- ①申込締切日までに受験希望科目の全単位分のレポートの提出。
※ただし、Web版のレポートについては“合格”が必要。
- ②下記「試験申込方法」に従い、申込期間内での申込みの完了。

●試験申込方法

「TFUオンデマンド」上で、下記の操作を行ってください。

- ①セミナー→アイコン「第5回 Web科目修了試験申込」をクリック。
「自動採点形式」右にある「学習」ボタンを押して全ての問題に解答し、「採点」ボタンをクリックします。
※アイコンは2019年1/15(火)9:00には表示されます。
※「自動採点形式」問題は合格するまで行ってください。
- ②「自動採点形式」に合格後、「試験申込ファイルダウンロード」が使用可能となります。
「試験申込ファイルダウンロード」にて申込用ファイル（Word形式）をダウンロード。

※ファイル名を下記のように設定し、名前をつけて保存。

「学籍番号 氏名 試験申込.docx」

③申込用ファイルの<申込欄>に必要事項を入力。

※申込用ファイルに記載の<試験申込要領>を必ずご確認ください。

④下記の内容でメールを送信。

【送信先メールアドレス】cg@tfu-mail.tfu.ac.jp

【件名】第5回 Web科目修了試験申込

【本文】(1)第5回 Web科目修了試験申込 (2)学籍番号 (3)氏名

【添付ファイル】申込用ファイル（ファイル名「学籍番号 氏名 試験申込.docx」）

例：18TW000 福祉太郎 試験申込.docx

●その他

科目修了試験（会場およびWeb）を受験し、その結果が不明な科目も申込みが可能です。ただし、両方で合格した場合は、先に結果が出た試験の成績が登録されますので、ご注意ください。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリングの感想を抜粋しました。

●保健医療サービス論 佐藤 英仁

- ・各制度について事例などを交せながらの内容だったので、整理しながら話を聞くことができよかった。
- ・資料が見やすく、解説もわかりやすく、役に立つ医療保険の知識と制度が合わせて理解できました。

●社会調査の基礎（社会福祉援助技術論Ⅱ） 三浦 剛

- ・ただ調査をすればいいのではなく、きちんとした目的とやり方を持って行わないと信憑性に欠けるし、裏づけも必要というのがわかりました。実践するにはまだまだですが、今の高齢者福祉の仕事にもいかせていただければいいと思いました。奥が深く講師の方の熱意も感じました。

●高齢者福祉論 中里 仁

- ・この先の人口減少についての予測を知り、今後の生活がどのようにして変化していくのか恐怖も感じました。目の前のことだけでなく、先を見据えながら今どうしたらよいかを考えていきたいと思いました。「できない理由を探すのではなく、どうすればできるかを考える」という言葉が印象的でした。
- ・資料の内容や言葉使いなどがシンプルでわかりやすく、主体的に考えさせられる内容の授業でした。高齢者、障がい者、児童など区別することも制度的に必要だと思いますが、それ以上に、それらすら区別しない考え方こそ、これからの福祉に必要なであると思いました。

●児童・家庭福祉論 千葉 伸彦

- ・DVDの映像などもあわせて見せてくださったおかげで、よりイメージして学ぶことができた。事例や自分の考えもあわせて、取り組めるようなスクーリングでした。
- ・実体験や事例をふまえた内容でわかりやすく理解しやすかった。自分自身も子育てしていることもあり、考えさせられる部分や共感できる部分もあって興味ある内容でした。

●特講・社会福祉学17（ACT） 西尾 雅明

- ・ACTの活動に関心があって受講しました。動画で実際の活動の様子を見せていただいたことで具体的な活動のイメージを知ることができ、複数の職種でひとりの利用者を支援する意義を学ぶことができました。ACTの活動が日本でもスタンダードになっていくと良いと思います。